

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10040111

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会 計 区 分	4 簡易水道事業会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17 上・下水道の整備	事 業 優 先 度	A	
単位施策	1 水道の安定供給	政 策 事 務 分 類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	元稲府線配水管改修事業	見 直 し 年 度	10 建設水道課	
事業期間	平成25年度	担 当 課	#N/A	
事業主体	雄武町	関 係 課	#N/A	
事業指標	改修延長	ハート/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
事業目標	140m	関係例規・法令名	無	
住民参加	無	関係個別計画名	無	
住民協働	無			

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	町道雄武浄化センター線道路整備工事に係る元稲府線道路排水管路布設替えの試掘調査により、排水管φ300と配水管VPφ150mm(接着剤接合)が約130mの区間並行、近接しているため、排水管路の布設替えができない状況にあります。 また、本配水管は海岸沿いの水産加工場に給水を行っている主要配水管であることから、切回しによる配水管事故の未然防止と安定給水確保を図ることから実施するものです。	元稲府線配水管改修工事 VPφ150mm L=140m				
計 画 事 業 費	事業費(千円)	6,000	6,000	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	6,000	6,000				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	5,880	5,880	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	5,880	5,880				
	特定財源の名称	(実施内容等) 元稲府線配水管改修工事 VPφ150mm L=140m	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値 140m				
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率 98%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率 98%	98%	98%	98%	98%
		事業進捗状況 ☆☆☆☆				

事業名	元稲府線配水管改修事業	評価者	管理職 職氏名	建設水道課長	渡邊孝司
		評価者	作成者 職氏名	水道係長	江田一夫

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	配水管改修延長。		
【抱える課題やニーズは】	配水管破裂による断水。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	断水の未然防水。		① 改修延長/改修延長実績	目標年度	平成25年度
				目標値	140 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安定供給の確保・強化。	②	実績値	140 m	
			達成度	100.0 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による配水管改修の実施。	入札により民間業者に発注し、配水管改修を行った。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	生活用水を安定供給するための配水管改修は、町が担う必要がある事業であります。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	断水事故等の未然防止が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札により事業費が軽減されたことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	生活用水の安定供給が維持されたことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
配水管改修により断水事故等の未然防止が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
-----------	--	--

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止